

平成18年5月10日  
内閣府（防災担当）

中央防災会議  
「東南海、南海地震等に関する専門調査会」（第22回）  
議事概要について

1. 専門調査会の概要

日時：平成18年5月10日（水）10:00～12:00  
場所：虎ノ門パストラル 新館5階 「ミモザ」  
出席者：土岐座長、入倉、河田、島崎、室崎の各専門委員、  
榊内閣府政策統括官 他

2. 議事概要

中部圏、近畿圏の検討対象とすべき内陸の地震による地震動推計等について事務局より説明を行った後、各委員にご議論いただいた。委員からの意見等は以下のとおり。

アスペリティの配置や破壊開始点の設定等については、過去の研究成果を検証の上、さらに検討を行う必要がある。

国と自治体との被害想定結果の差については、それぞれ検討目的が異なることから、どのような考え方に基づいて推計したかを整理しておく必要がある。

大阪湾断層帯、伊勢湾断層帯による津波防災対策の検討にあたっては、地震発生の蓋然性を踏まえて行う必要がある。

< 連絡・問い合わせ先 >

内閣府 地震・火山対策担当参事官補佐 中村 浩二  
同参事官付主査 檜山 洋平

TEL：03-3501-5693（直通） FAX：03-3501-5199